



平井小学校だより

令和7年12月22日 第12号



学 校 教 育 目 標

**平井大好き！ ふるさとに誇りを持ち
学び合い 支え合い とともに未来を切り拓く児童の育成**

共感力

挑戦力

やりぬく力

文責 木村幸一

笑顔まんかいの平井小にするために！

12月15日（月）、校内人権集会を行いました。今年度は、保護者の皆様にも子どもたちの発表をご参観いただきました。

どの学年の発表も素晴らしく、人権学習の深まりを感じるとともに、心が温かくなる時間となりました。また、それぞれの学年の発表を聞きながら、考えたこと、感じたこと（返しの言葉）の発表もたくさんありました。特に、子どもたちに育てたい資質・能力のひとつである「相手の気持ちを思いやりながら行動する力＝共感力」が確かに育っていることを大変うれしく思います。

ご家庭でもぜひ話題にしてください。子どもたちが「自分を大切にし、自分と同じくらい他の人も大切にできる人」へと成長できるよう、家族で話し合ったり、日常の中で声をかけたりしていただければ幸いです。



ネット社会をかしこく豊かに生きるために！

今や私たちの生活に欠かせないインターネット。特に LINE などのメッセージアプリは便利で楽しい反面、使い方を誤るとトラブルにつながることもあります。例えば、ちょっとした言葉の行き違いから友だち関係がぎくしゃくしてしまったり、深夜までやり取りを続けて生活リズムが乱れてしまったりすることがあります。しかし、正しく使えば、友だちや家族との絆を深め、学びや生活をより豊かにする力にもなります。

そこで、12月15日（月）、真和中学・高等学校情報専門監の戸田俊文先生をお招きし、「ネット社会をかしこく生きるために」という演題でご講話をいただきました。

講話では、子どもたちが日常生活の中ですぐに実践できる、SNS を豊かにかしこく使うための「3つの力」について、分かりやすくお話しいただきました。子どもたちや保護者の皆様の感想には次のようなものがありました。

【低学年】「本をいっぱい読みたいです。ルールを守りたいです。」

【中学年】「SNS のこわいところ、あぶないところを教えていただきありがとうございます。文章にはもう一文付け足したいです。」

【高学年】「スマホやゲームもしたいけれど、読書や文字を書くことも心がけて取り組んでいきたいです。」

【保護者】「子どもの頼れる場所や逃げ場が SNS にならないように、子どもと向き合っていきたい。」

このように、子どもたちや保護者の皆様がそれぞれの立場から考えを深めることができ、講話を通して SNS との向き合い方を改めて考える貴重な機会となりました。

2026年もよい年でありますように！

冬の寒さが一段と深まってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

早いもので、今年も残すところ十日ほどとなりました。この一年、行事や日々の学校生活において、保護者の皆様、そして地域の皆様には多くのご協力と温かなご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

振り返りますと、子どもたちの隣にはいつも皆様がいてくださり、一人ひとりの成長を見守り、支えてくださったことに改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

来年も子どもたちと保護者の皆様、地域の皆様にとって素晴らしい一年となりますように、『笑顔まんかい』を目指して取り組んでまいります。

引き続き温かいご支援を賜いますようお願い申し上げます。